

6. 日新高校の改革についてお聞きいたします。

かつて私は、大阪府立日新高校入学・同校卒業という履歴書を書いてきた日新高校卒業生に接することがあり、衝撃を受けたことがあります。もし中学校教員や中学生にとって日新高校が、他の府立高校と横並びで偏差値による進学選択の中の1校だとすれば、東大阪市立高校として年間7億200万円の予算をつける価値があるでしょうか。

大阪市の21高校が令和4年度に大阪府に移管される計画案がまとまり、9月の定例府議会で条例案が提出され、来年1月に開催される教育委員会会議で最終決定されることになっていますが、日新高校も府に移管したほうが経費は確実に節減されます。しかしそれでいいのだろうか。八尾市立清友

2009 第3回定例会 中西個人質問

空調整備は進めなければいけない喫緊の課題であると考えますが、市のお考えはいかがですか。

改革の第二は、クラブ活動のさらなる活性化です。すでにラグビー、バスケットボール、吹奏楽、卓球、サッカー、野球など、活躍しているクラブがあることも仄聞しています。しかし子どもたちがもっと徹底して3年間を燃焼し全国を目指す環境をつくることは、子どもたちの生きる力を涵養する上でも、日新高校で学んでよかったと思える生徒を少しでも多くつくるためにも必要なことではないか。指導体制をはじめとして、市として考えていることがあるのかお答えください。

改革の第三は学科制度の再編整備です。日新高校のこの3年間の入試実績を見ると、定員割れの状況です。普通科160名・英語

2009 第3回定例会 中西個人質問

を問います。

市はこれまで教育委員会の中に日新高校の担当官を置いていたにすぎなかったのですが、本年度から学校教育部に高等学校課を創設したことは、市として日新高校を改革しようという意気込みが感じられますが、なぜ高等学校課を新設したのか、その意図は何か、市の見解を問います。

高校が府に移管された後、統廃合されたことと同じ道をたどることになると言わざるを得ません。日新高校は、大正12年に私立日新商業学校として創立されてから、3年後には創立100周年を迎える伝統ある学校です。このタイミングで日新高校を改革して、市立高校の在り方を考えるいい時期ではないでしょうか。

日新高校改革の第一は、施設の整備です。施設整備の第一は体育館の空調です。いまの体育館は大体育室も小体育室も構造的に空気が抜けにくい構造で、今年のような35度を超える猛暑日が続くと、体育館は45度を超えて活動が危険な状態になっています。府立高校においては平成31年度から令和5年度までに132の府立高校の体育館に空調設備を整備する事業を進めています。府立高校の整備に先んじて日新高校の体育館の

2009 第3回定例会 中西個人質問

科40名・商業科80名の7クラス計280名のうち、普通科は受験者数が募集人員よりも上回っているものの、英語科・商業科は定員割れしており、商業科は80人募集で48人の受験者であり普通科から26人を回し合格しても募集定員を満たしていません。商業科は日新高校にとって出発点になる学科であり、日新高校のアイデンティティともいえる学科でその重要性は十分認識しているのですが、3年続けて大幅に定員割れしている現状では、時代の趨勢に合致していないと言わなければなりません。地域社会を愛しグローバルな視点で活躍できる、教育委員会が言ういわゆるグローバルな人材の育成の見地からも、情報処理や外国語に特色をもった教育を実践し、社会のニーズに合った人材の育成にシフトした学科編成が必要なのではないか、教育委員会の見解

2009 第3回定例会 中西個人質問